

資格名	付与機関	資格概要	取得方法	試験概要	めざせる職業等
1 高等学校教諭 一種免許状 【書道】	都道府県	公立・私立の高等学校の教員として働くために必要な免許状です。	文科省が定めている高等学校一種免許状取得に必要な単位を修得する。 ・高等学校教育実習 (本専攻では2週間) ※教育実習は、中学校実習を行うことで代替できます。介護体験についても同様です。	就職に際し、それぞれの自治体が実施する「教員採用試験」を受験します。 一次試験5～7月、二次試験6～8月 大都市は学校推薦枠を採っていて、学校からの推薦者は一次試験免除となっています。 3年次受験を開始している自治体もあります。	・各県の高等学校教諭 ・教育に関わる企業 ・塾講師
2 高等学校教諭 一種免許状 (国語・英語・情報)	都道府県	公立・私立の高等学校の教員として働くために必要な免許状です。	文科省が定めている中学校一種免許状取得に必要な単位を修得する。 ・中学校教育実習(本専攻では2週間) ・介護等体験実習7日間 ※教育実習は、本学連携協定の山梨市で行うか、出身の地元で行うかどうかを選択します。介護体験の施設場所は県の割り振りに従って、決めます。	就職に際し、それぞれの自治体が実施する「教員採用試験」を受験します。 一次試験5～7月、二次試験6～8月 大都市は学校推薦枠を採っていて、学校からの推薦者は一次試験免除となっています。 3年次受験を開始している自治体もあります。	・各県の中学校教諭 ・教育に関わる企業 ・塾講師
3 中学校教諭 一種免許状 (国語・英語)	都道府県	公立・私立の中学校の教員として働くために必要な免許状です。	文科省が定めている小学校教諭一種免許状取得に必要な単位を修得します。 ・教育実習(本専攻では2又は4週間) ・介護等体験実習7日間 ※教育実習は、本学連携の指定校か、出身地で行うかどうかを選択します。介護体験の施設場所は県の割り振りに従って、決めます。	就職に際し、それぞれの自治体が実施する「教員採用試験」を受験します。 一次試験5～7月、二次試験6～8月 大都市は学校推薦枠を採っていて、学校からの推薦者は一次試験免除となっています。 3年次受験を開始している自治体もあります。	・各県の小学校教諭 ・教育に関わる企業 ・塾講師
4 毛筆・硬筆 書写技能検定	財団法人日本書写技能検定協会	文部科学省が後援し、財団法人日本書写技能検定協会が実施している技能検定のことです。毛筆・硬筆書写の高度な専門技術及び知識を得ることができます。また文部科学省後援のため全国共通基準であり、高い評価を受けるとともに履歴書等に書くことができます。	年に3回受験チャンスがあります。卒業までに1級を取得することを目指します	3年3回実施	・小・中・高の書写・書道教室
5 小学校教諭 一種免許状	都道府県	公立・私立の小学校の教員として働くために必要な免許状です。	文科省が定めている小学校教諭一種免許状取得に必要な単位を修得します。 ・教育実習(本専攻では2又は4週間) ・介護等体験実習7日間 ※教育実習は、本学連携の指定校か、出身地で行うかどうかを選択します。介護体験の施設場所は県の割り振りに従って、決めます。	就職に際し、それぞれの自治体が実施する「教員採用試験」を受験します。 一次試験5～7月、二次試験6～8月 大都市は学校推薦枠を採っていて、学校からの推薦者は一次試験免除となっています。 3年次受験を開始している自治体もあります。	・各県の小学校教諭 ・教育に関わる企業 ・塾講師
6 学芸員	国(国家資格)	学芸員は、博物館法で規定された博物館において、資料の収集、保存、展示および調査研究、教育活動等を行う、博物館で働く専門的職員の資格です。	博物館法施行規則に定められている必修科目(19単位)および本学独自の選択科目(8単位)の合計27単位以上を修得し、本学を卒業することが必要です。	卒業認定時に認定	公務員、博物館学芸員
7 学校図書館 司書教諭	講習実施大学	小・中・高等学校に設置される学校図書館において、学校教育に必要な資料を収集・保存して、児童又は生徒及び教員の利用に供することによって教育課程の展開に寄与するとともに、児童または生徒の豊かな教養を育成することを目的とする専門職に従事する教諭です。	小・中・高等学校の教諭免許状のいずれかを取得し、本学の学校図書館司書教諭課程に関する科目の単位(必修10単位)を修得します。(卒業後、講習実施大学へ一括申請し、学校図書館司書教諭講習の終了証書を受けます。)	この資格のための試験はありませんが、所属した学校で、学校図書館司書の業務ができる資格です	・学校図書館
8 図書館司書	国(国家資格)	司書は、図書館法で規定された図書館において、図書資料の収集、整理、保管、レファレンスなどのサービスに従事する、図書館で働く専門的職員の資格です。	図書館法施行規則に定められている必修科目(22単位)と、選択2科目(2単位)以上の合計24単位以上を修得し、本学を卒業することが必要です。	卒業認定時に認定	公務員、図書館司書
9 学校司書	岐阜女子大学(国のモデルカリキュラム準拠)	小・中・高等学校に設置される学校図書館で、学校の教育課程に資する司書としての能力を証明する資格です。	文部科学省が示しているモデルカリキュラムに対応した本学科目(28単位)を修得し、本学を卒業することが必要です。	卒業認定時に認定	小・中・高等学校等図書館
10 デジタルアーキビスト	日本デジタルアーキビスト資格認定機構	デジタルアーキビストは、文化・産業資源等、情報資源の収集・管理・保護・活用を担当できる人材としてデジタルデータを適切に扱うための能力や技術を有することを証明する資格です。	日本デジタルアーキビスト資格認定機構が定める科目の単位を含む(必修科目12単位、選択科目20単位)を履修し、デジタルアーキビスト資格認定試験に合格することが必要です。	年度末(2月頃)に記述試験を実施	情報通信、金融、印刷、教育、マスコミ、公務員(一般・司書・学芸員・教員)など、様々な業種、職種
11 上級情報処理士	全国大学実務教育協会	ビジネスの現場で必要とされる高度な情報実務能力を証明する資格です。	全国大学実務教育協会が定める区分の領域に対応した本学が定める科目の必修科目(8単位)と、選択2科目(16単位)以上の合計24単位以上を修得し、協会に申請することが必要です。	規定単位取得後、年に1度の申請(11月受付、3月認定)を行うことにより認定	システムエンジニア、プログラマー、システムサポート、インストラクター、一般事務、営業事務等

「資格取得」のための手引き（取得フロー）

資格名	1年次		2年次		3年次		4年次		備考
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
高等学校教諭 一種免許状 (国語・英語・家庭 ・情報・書道)	教師論	各教科専門	教育原理	各教科教育法	教育の方法・技術 3年次受験試験 一次試験 5~7月	教育方法論	4年次受験試験 一次試験 5~7月	教職実践演習 二次試験 6~8月	※資格取得（卒業時） （左記記載の試験は「採用 試験」となります）
中学校教諭 一種免許状 (国語・英語・家庭)	教師論	各教科専門	教育原理	各教科教育法	教育の方法・技術 3年次受験試験 一次試験 5~7月	教育方法論	4年次受験試験 一次試験	教職実践演習 二次試験 6~8月	※資格取得（卒業時） （左記記載の試験は「採用 試験」となります）



教師論

資格の主要科目を表す



白丸は試験時期を表す